

事業評価書

補助事業名	交通施設：小10742号線外2整備事業			
補助事業者名	小美玉市長			
実施場所	小美玉市中延地内			
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、中延地区の住民が小川地区市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、県道玉里水戸線と市道小201号線を結ぶ道路でもある。</p> <p>しかし、現道は、全線にわたり狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況であり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで地域住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>よって、これらを改善するため、現道の道路拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（中延地区）人口／世帯数：1,367人／568世帯 （令和3年4月1日現在）</p>			
補助事業の内容	道路改良工事 W=3.0m L=140m			
補助事業の始期及び終期	平成21年度から令和3年度			
事業費及び交付金額		令和2年度 以前	令和3年度	計
	事業費	円 276,269,886	円 38,951,000	円 315,220,886
	交付金額	円 248,400,000	円 35,500,000	円 283,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>全線供用開始後、地元区長や周辺住民等に対し、整備効果について意見を聴取した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路側溝が整備され慢性的な水溜まりが解消した ・道路が広がり車両のすれ違いが可能となったことで、緊急車両やゴミ収集車の車両の通行が容易となった ・地区公民館へのアクセスが容易になった ・法面が綺麗になり、草刈り等の地区の維持管理が軽減される ・農耕車両の通行がしやすくなり作業効率が向上する <p>など、道路整備により利便性の向上や維持管理の負担軽減に関し、一定の評価を得た。また、その他、「道路が綺麗になり愛着が湧く」といった意見も挙がった。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>本事業が防衛省交付金を活用した事業である旨を、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地区回覧により周知した ②工事期間中、工事看板に記載した ③市ホームページに掲載した 			
事業の改善措置及び今後の対応	無			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無			

事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する施設：茂内池地区ため池				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市飯前地内				
補助事業の成果の目標	<p>農業用ため池の第一の役割は、水田に安定して用水を供給するために水を貯めておくことである。</p> <p>しかしながら現在、茂内池は護岸が一部破損しており、本来の機能が低下している状態であるため護岸工事を行い本来の貯水機能を回復させ、よりよい環境での水稲作付けを行う。</p> <p>【参考指標】 受益面積約20.8ha/耕作者数49人</p> <p style="text-align: right;">令和3年度営農計画書参考</p>				
補助事業の内容	護岸工事 A=425.0㎡				
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和3年度				
事業費及び交付金		令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
	事業費	円 13,640,000	円 18,183,000	円 20,636,000	円 52,459,000
	交付金額	円 10,000,000	円 14,000,000	円 20,000,000	円 44,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本工事が完了したことにより、地元の区長を始め水利施設維持管理組合及び耕作者に対し、整備効果について意見を聴取した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・護岸工事と併せて浚渫を行ったことにより、本来の貯水機能を回復させることが出来たので、今後は、よりよい環境での水稲作付けを行うことが出来る。 ・一部フェンスが破損している危険箇所があったが、フェンスが新しくなったことにより不安要素がなくなった。 ・護岸整備と併せて法面が綺麗になったので、草刈り等について地元水利施設維持管理組合の維持管理が軽減される。 <p>などの意見があり、今回のため池整備により、農業用ため池の第一の役割である、水田に安定して用水を供給する本来の貯水機能を回復させることに、一定の評価を得た。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が防衛省交付金を活用した事業である旨を、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地区回覧により周知した ②工事期間中、工事看板に記載した ③市ホームページに掲載した 				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	社会福祉施設：健康増進施設駐車場整備（駐車場整備工事）			
補助事業者名	小美玉市長			
実施場所	小美玉市上吉影地内			
補助事業の成果の目標	<p>本事業の施設は、平成31年1月より小美玉市民の利用環境の向上を図るために利用料の改正を行い、同年4月から指定管理者制度を導入し、指定管理者による運営となつてからは客層も変わりマイクロバスを利用した利用者はもとよりマイカーを利用して来館される利用者が増加しており、駐車場が不足がちになっている。そのため、新たに駐車場を整備して駐車場不足によるサービスの低下を防ぎ、施設利用者の利便性を図るものである。</p> <p>【参考指標】 施設利用者数 41,244人 (令和3年3月31日現在)</p>			
補助事業の内容	駐車場整備工事 アスファルト舗装等 A=3,991.00㎡			
補助事業の始期及び終期	令和2年2月13日から令和4年3月22日			
事業費及び交付金額		令和2年度 以前	令和3年度	計
	事業費	44,838,728 円	63,019,000 円	107,857,728 円
	交付金額	31,300,000 円	45,000,000 円	76,300,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 工事完了後、施設利用者から、整備効果についてアンケート調査を実施した結果、駐車場整備により大変良くなった又は良いの意見は 89名 79.5%であった。</p> <p>本アンケートの結果から、回答者の約80%の方より駐車場整備に対する高評価効果を頂いた。 また、その他の意見として「キャンプやグランピングも検討してほしい」といった意見も挙がった。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が防衛省交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知した ②工事期間中、工事看板に記載した ③市ホームページに掲載した</p>			
事業の改善措置及び今後の対応	無			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無			

事業評価書

補助事業名	教育文化施設：小美玉市立小川北義務教育学校配膳室備品購入事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市川戸1347番地1(小美玉市立小川北義務教育学校)				
補助事業の成果の目標	<p>令和4年度より小川北中学校が小中一貫の義務教育学校化（小川北中学校・野田小学校・上吉影小学校・下吉影小学校の統合）に伴い、校舎の建替の工事を現在行っている。統合により、児童・生徒や教員の数も増える為、既存の給食用備品だけでは統合後の対応が難しく、児童・生徒等の学校生活に影響がでることが懸念される。統合に伴い、既存の備品等では各々が小さく経年劣化が見られるので、新たに購入することにより、一括して全学級数分の食品が収納保管でき、品質が保たれる。</p> <p>また、2槽シンクで洗浄した牛乳箱とパン箱は、消毒保管機で一回に殺菌消毒できることで効率がよく、衛生面が保たれる。牛乳保冷庫も設置することにより牛乳の品質が保たれ、これらの備品を設置することで、学校給食の配膳において、児童・生徒がより衛生的・安全に利用しやすい教育環境の確保を図るものである。</p> <p>【参考指標】 喫食者数/延べ日数/延べ利用者数：539人/201日/108,339人 (令和3年10/1現在の小川北中学校・野田小学校・上吉影小学校・下吉影小学校)</p>				
補助事業の内容	備品購入				
補助事業の始期及び終期	令和3年度				
事業費及び交付金		3年度			計
	事業費	4,345,000	円	円	円
	交付金額	4,000,000	円	円	円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 毎日作業しているび配膳員に意見を聴取したところ、新たに購入した備品を使用することで、一括して保管や保冷ができるので作業がしやすい、効率よく衛生的な給食が提供できているとのことで、安全で利用しやすい教育環境の確保が図れたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①市ホームページに掲載 ②学校広報誌等に掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設：令和3年度 道路維持補修車購入事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市堅倉地内				
補助事業の成果の目標	<p>当市の道路管理業務として市道認定道路1,536kmの維持管理の他、側溝等排水路、交通安全施設等の維持管理を行っている。しかし、現在運用している維持補修車両は老朽化が著しく購入後10年以上経過している。また修理や部品交換も年々多くなっていることから、安全対策の面からも運用上においても懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で災害対応をはじめ、道路等に関する市民の要望に迅速な対応ができるよう、維持補修車両を整備することで、市内全域の生活道路を維持する一助として随時支援ができるよう地域区分による車両の運用体制の構築を図る。</p> <p>【参考指標】 年間稼働日数 軽ダンプトラック 246日（要望件数300件） 2tダンプトラック 182日（要望件数223件）</p>				
補助事業の内容	2tダンプトラック1台購入				
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和7年度				
事業費及び交付金額		令和3年度以前	令和4年度	令和5年度以降予定	計
	事業費	円 4,104,408	円 4,557,685	円 19,837,907	円 28,500,000
	交付金額	円 3,700,000	円 4,300,000	円 14,500,000	円 22,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 車両の導入により、操作不具合や故障障害が無くなり円滑に作業が行えるようになったなどの業務効率向上の評価があった。このことから道路施設の適切な維持管理により、市民の道路交通上の安全対策と道路等に関する市民の要望に迅速な対応の向上ができた。引き続き支援体制の整備を図るものとする。</p> <p>「道路維持補修車稼働状況」4/1から6/20まで 業務日数53日の内稼働日数29日 54.7%（年間業務日数 248日）</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ①車体にステッカーで明記 ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	現在、市が保有している道路維持補修車について、計画的に整備更新により安全な道路環境の維持に務める。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	福祉に関する事業：小美玉市公共用バス整備基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の一助として市が所有する公共用バスを利用する事業等を行う各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過しており、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、また安全対策の面からも懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指標】 令和2年度公共用バス利用団体／利用日数 延べ29団体／延べ44日</p>									
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新									
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成25年度から令和6年度 基金の処分：平成26年度から令和6年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	25	8,900,000				8,900,000		8,900,000		
	26	8,000,000				8,000,000	8,586,000	8,314,000	8,586,000	
	27	20,000,000				20,000,000	1,068,000	27,246,000	1,069,264	
	28	9,680,000				9,680,000	1,309,000	35,617,000	1,309,674	
	29	6,000,000				6,000,000	2,550,000	39,067,000	2,557,885	
	30	6,000,000				6,000,000	780,000	44,287,000	780,000	
	元	6,000,000				6,000,000	30,471,000	19,816,000	30,471,991	
2	6,000,000				6,000,000	747,000	25,069,000	747,919		
3	6,000,000				6,000,000	9,379,000	21,690,000	9,379,703		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 利用対象である各種団体の公共用バス活用において、利用者数は新型コロナウイルスの影響により大幅に減少したR2年度と比較すると、徐々に増加している。 利用団体にアンケート等の調査を行った結果、「新しいバスは快適だった」「次回も利用したい」等の公共用バスに関する好評の声や「コロナが落ち着いてきて活動が再開できて嬉しい」等の声が挙がっている。 このことから当事業により、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境を確保できたものと考えられる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ①バス側面にステッカーを貼り、車内にも掲示 ②市ホームページに掲載 ③広報誌に掲載予定</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者期間の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	教育文化施設:小美玉市図書館図書資料等整備基金																																												
補助事業者名	小美玉市長																																												
実施場所	小美玉市小川1664-2(小川図書館)																																												
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市図書館は市民の学習意欲を支援する施設として、新刊図書の購入及び貸出、県内図書館等との連携による貸出サービス等、地域住民の実情に即したきめ細かい奉仕作業により、親しみやすい図書館として広く利用されるよう図書資料の整備充実、サービス体制の強化を図り、市民の生活文化の向上に努める。</p> <p>【参考指数】</p> <table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>来館者数</td> <td>56,524人</td> <td>資料購入数</td> <td>5,398点</td> <td>資料貸出数</td> <td>140,707点</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>来館者数</td> <td>54,577人</td> <td>資料購入数</td> <td>5,139点</td> <td>資料貸出数</td> <td>142,264点</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>来館者数</td> <td>47,495人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,633点</td> <td>資料貸出数</td> <td>133,389点</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>来館者数</td> <td>23,488人</td> <td>資料購入数</td> <td>4,168点</td> <td>資料貸出数</td> <td>92,965点</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>来館者数</td> <td>26,838人</td> <td>資料購入数</td> <td>3,342点</td> <td>資料貸出数</td> <td>95,715点</td> </tr> </table>										平成29年度	来館者数	56,524人	資料購入数	5,398点	資料貸出数	140,707点	平成30年度	来館者数	54,577人	資料購入数	5,139点	資料貸出数	142,264点	令和元年度	来館者数	47,495人	資料購入数	4,633点	資料貸出数	133,389点	令和2年度	来館者数	23,488人	資料購入数	4,168点	資料貸出数	92,965点	令和3年度	来館者数	26,838人	資料購入数	3,342点	資料貸出数	95,715点
平成29年度	来館者数	56,524人	資料購入数	5,398点	資料貸出数	140,707点																																							
平成30年度	来館者数	54,577人	資料購入数	5,139点	資料貸出数	142,264点																																							
令和元年度	来館者数	47,495人	資料購入数	4,633点	資料貸出数	133,389点																																							
令和2年度	来館者数	23,488人	資料購入数	4,168点	資料貸出数	92,965点																																							
令和3年度	来館者数	26,838人	資料購入数	3,342点	資料貸出数	95,715点																																							
補助事業の内容	図書館資料の購入																																												
補助事業の始期及び終期	基金の造成: 令和元年度から令和8年度 基金の処分: 令和2年度から令和9年度																																												
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額																																				
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計																																							
		円	円	円	円	円	円	円	円	円																																			
	R1	4,900,000				4,900,000	0	4,900,000																																					
R2	4,900,000				4,900,000	2,000,000	7,800,000																																						
R3	4,900,000				4,900,000	3,000,000	9,700,000																																						
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 来館者数・貸出点数は新型コロナウイルス流行前の水準にまだ及ばないが、利用者アンケートにおいて「図書館の満足度」に関する各質問項目への回答が、「満足」「やや満足」「普通」あわせて約96%と高い評価を得ており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①図書館内に掲示 ②図書館ホームページに掲載 ③図書資料奥付にスタンプ印を押印</p>																																												
事業の改善措置及び今後の対応	無																																												
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無																																												

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市文化施設等維持管理運営等事業基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市小川225(小川文化センター)									
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市は文化ホールとして3つの施設があり、その中で小川文化センターは、昭和57年に開館して以来、約39年が経過し、年間約6万人が利用している。 大ホールは1,081席を備えており、芸能、文化イベントや学園発表会、式典行事が行われ、小ホールや会議室は文化行事や会議など幅広く利用されている。 交付金を活用し、保守点検等を始め施設の維持管理を適切に行うことで、文化施設の利用者が安心して快適に利用できるようにし、またこの施設を利用したくなるようにすることで、文化の振興と地域の活性化を図る。</p> <p>【参考指数】 令和元年度 施設利用者数 38,314人【耐震・改修工事のため利用制限有】 令和2年度 施設利用者数 6,597人 【耐震・改修工事及び新型コロナウイルス感染対策のため利用制限有】 令和3年度 施設利用者数 30,077人 【新型コロナウイルス感染対策のため利用制限有】</p>									
補助事業の内容	小美玉市文化施設等の維持管理及び運営等に係る事業									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和2年度から令和11年度 基金の処分:令和3年度から令和12年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計				
		円	円	円	円	円	円	円	円	
	R2	83,000,000	0	0	0	83,000,000	0	83,000,000	0	
R3	23,430,000	0	0	0	23,430,000	15,982,000	90,448,000	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] アンケートの結果、施設を再び利用したいとの回答が多く寄せられ、理由(自由記述)でも「良い設備を完備している」「快適に展示会を開催できた」と肯定的な意見が寄せられた。 上記の結果を受けて、本市としては交付申請時の目標が達成されたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施方法] 市並びに施設ホームページへの掲載及び施設入口案内板への掲示により実施した。</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市情報教育支援基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市内小学校及び中学校								
補助事業の成果の目標	<p>当市の小中学校では、優先的に整備すべきICT環境整備について「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき整備を行ってきた。</p> <p>現在、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっている中で、1人1台端末の整備を行い、普通教室での活用や個別学習、グループごとの発表等協働学習等に活用している。</p> <p>小中学校のICT環境の授業活用の機会を促進し、特別教室や校外での学習等にも取り入れることで、一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の向上を図るものである。</p> <p>【参考指数】◆ 児童・生徒数:3,584人 (R4.1.19現在)</p> <p>小川南小 420人、野田小 162人、上吉影小 113人、下吉影小 48人、竹原小 194人、羽鳥小 468人、堅倉小 252人、納場小 266人、玉里学園義務教育学校(前期課程) 343人 小川南中 246人、小川北中 177人、美野里中 716人、玉里学園義務教育学校(後期課程) 179人</p>								
補助事業の内容	<p>情報機器の維持管理に係る保守業務 タブレット端末の活用に伴う通信費用 タブレット端末の活用に係る授業支援ソフト等の導入運用 情報機器を活用したオンライン授業等で教材等を使用する著作権の補償 PC教室の設定内容の変更業務 大判プリンタ・プロジェクターのリース導入</p>								
補助事業の始期及び終期	<p>基金の造成:平成30年度から令和4年度 基金の処分:令和元年度から令和4年度</p>								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	60,004,000	0	0	0	60,004,000		60,004,000	
	R1	60,000,000	0	0	0	60,000,000	40,521,000	79,483,000	44,852,095
R2	92,487,000	0	0	0	92,487,000	52,344,000	119,626,000	56,676,112	
R3	60,000,000	0	0	0	60,000,000	36,056,000	143,570,000	73,797,753	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 各学校の教職員、児童生徒それぞれにアンケートを実施したところ、児童生徒のICT活用に関するアンケートでは、パソコンやタブレットを使うことが楽しいと感じる児童生徒が95%、パソコンやタブレットを活用した授業がしたいと考える児童生徒が88%おり、児童生徒の充実感としても9割近い人数がいるため、目標は達成したと判断する。 活用される教科については、「社会」が最も多く約33%、次いで「算数」が約22%という結果になっている。 活用が難しいとされる教科は、「国語」が約67%という結果になった。 また、活用方法については、令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校となった期間、学校と各児童生徒の家庭でオンライン授業を実施した。 児童生徒が活用に対して意欲を示していることから、ICT機器の活用方法について、教職員の負担軽減を含め、推進する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 1, 学校だよりに掲載し、保護者及び地区住民へ周知。 2, 市ホームページ等で掲示。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する事業:小美玉市地域再生交流拠点施設維持管理運営等事業基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市山野1628-44(空のえき「そ・ら・ら」)								
補助事業の成果の目標	<p>空のえき「そ・ら・ら」は、平成26年7月31日にオープンして7年5ヶ月が経過し、現在約360万人の来場者を迎えたところである。</p> <p>地場産品の販売、地場産品を味わえる施設、イベントの開催、屋内外広場を充実させ、地域経済の活性化につなげ、地域活動交流拠点としての環境の確保を整え、さらなる集客を図る。</p> <p>【参考指標】</p> <p>平成28年度 来場者数 477,300人 平成29年度 来場者数 480,300人 平成30年度 来場者数 514,400人 令和1年度 来場者数 458,700人 令和2年度 来場者数 355,700人</p>								
補助事業の内容	地域再生交流拠点施設の維持管理及び運営等								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和7年度 基金の処分:令和元年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	50,000,000				50,000,000		50,000,000	
	R1	41,043,000				41,043,000	9,234,000	81,809,000	9,234,635
R2	62,074,000				62,074,000	30,000,000	113,883,000	30,527,436	
R3	33,994,000				33,994,000	30,000,000	117,877,000	33,078,600	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度と比較し、令和3年度の「そ・ら・ら」全体の売り上げは約110.8%の増となっている。</p> <p>その中でも来場者のアンケートでは約8割の来場者が「普通～満足」や「再度来場したい」との回答を得られており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>①毎月発行している「そ・ら・らNews」に掲載 ②市ホームページ及び「そ・ら・ら」ホームページに掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育文化施設：小川文化センター耐震改修工事（実施設計）整備事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市小川225（小川文化センター）				
補助事業の成果の目標	<p>小川文化センターは昭和57年に竣工しており、平成16年度から平成17年度にかけて大規模なリニューアル工事を行っています。平成23年の東日本大震災時には内壁に亀裂が入るなど建物自体の安全性が懸念されていたが、平成29年度に実施させていただいた耐震診断調査において、躯体自体に問題は無いが、CB壁の改修やホール内天井の耐震改修が必要であるとの結果であった。当館は、1200名を収容できる大ホールがあるなど、市民に広く活用されていると同時に、災害時には市指定の避難所（避難者想定2345名）としての役割を持つ重要な施設となっている。</p> <p>よって、耐震改修工事を行うことにより利用者の安全性の向上及び防災力の強化を図るものである。なお、今年度については、耐震診断調査の結果をもとに、さらなる利用率アップを図る為、耐震改修実施設計を行うものである。</p> <p>【参考指標】 各稼働率 大ホール（71.20%） 小ホール（78.50%） 会議室1（50.20%） 会議室2（81.70%） 和室（47.00%） リハーサル室（34.60%） （平成30年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	小川文化センター耐震改修工事（実施設計）				
補助事業の始期及び終期	平成30年度				
事業費及び交付金		29年度以前	30年度	31年度以降予定	計
	事業費	円 14,364,000	円 34,452,000	円 -	円 48,816,000
	交付金額	円 13,410,000	円 30,461,000	円 -	円 43,871,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 令和2年12月の耐震改修工事完了後、当施設の利用を再開したが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う国の緊急事態宣言発令等により休館が生じ、目標達成状況を確認するためのアンケートを実施できなかったことから、令和3年度も利用者を対象としたアンケート調査を継続して実施した。 アンケートの結果、耐震改修工事を実施したことによる防災力の強化・安全性の向上については、とても安心できる・安心できるの回答合計が100%であり、防衛省の交付金・補助金を活用したことについても良いこと、有益とする意見が寄せられた。また付随する利用環境の向上については、改修対象の箇所について明るくなった、移動が楽になったとする回答・意見が多く寄せられた。 上記の結果を受けて、本市としては当初の設計時の目標が達成されたと判断する。</p> <p>【地域住民への周知の実施方法】 市並びに施設ホームページへの掲載及び施設入口案内板への掲示により実施した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				